

# 2024年度第1回全統共通テスト模試（Web受験）実施要項

- 下記時間割を参考に受験してください。
- **受験開始可能時間は、9:30～20:30です。最終受験科目は20:30までに試験を開始してください。**受験科目設定・志望校設定は9:00～23:00の間に設定可能です。
- 事情により時間割通りに受験できない場合は、**試験時間(制限時間)を厳守し**受験してください。また、受験しない科目については繰り上げて受験しても構いません。
- 「試験開始」ボタンを押すと、試験時間のカウントがスタートします。端末トラブル等で解答できなかった場合に備え、試験時間の2倍(リスニングは4倍)の時間までは受験が可能です。
- **所定の試験時間が過ぎるまで「答案提出」ボタンは押さませんので、時間を短縮して受験することはできません。**
- **複数端末または複数ブラウザで同時ログインはできません。**元のブラウザでのログイン情報は無効となり、受験中の場合、受験時間や解答情報は消去されます。
- 受験日について
  - <受験日:5/11(土)でお申し込みされた方> すべての受験科目を1日で受験しても、5/11(土)・5/12(日)の2日間に分けて受験しても構いません。
  - <受験日:5/12(日)でお申し込みされた方> 2日間での受験はできません。5/12(日)1日で受験を完了してください。

## 【参考時間割】

時間割には、試験に関する注意事項や操作方法案内の確認時間、リスニング音声チェックの時間は含んでいません。時間に余裕を持ってログインしてください。

1日 で受験 の場合 ・文系	教科		時間
	地理歴史 公民	(1時間目)	9:40 ~ 10:40 (60分)
		(2時間目)	10:50 ~ 11:50 (60分)
	昼休み		11:50 ~ 12:30 (40分)
	国語		12:30 ~ 14:00 (90分)
	英語(リーディング)		14:10 ~ 15:30 (80分)
	英語(リスニング)		15:40 ~ 16:10 (30分)
	数学①		16:20 ~ 17:30 (70分)
	数学②		17:40 ~ 18:50 (70分)
	理科 ※		19:00 ~ 20:00 (60分)
情報		20:10 ~ 21:10 (60分)	

※理科基礎:1科目のみ 19:00～19:30、2科目受験 19:00～20:00

1日 で受験 の場合 ・理系	教科		時間
	地理歴史・公民		9:40 ~ 10:40 (60分)
	国語		10:50 ~ 12:20 (90分)
	昼休み		12:20 ~ 13:00 (40分)
	英語(リーディング)		13:00 ~ 14:20 (80分)
	英語(リスニング)		14:30 ~ 15:00 (30分)
	数学①		15:10 ~ 16:20 (70分)
	数学②		16:30 ~ 17:40 (70分)
	理科 ※	(1時間目)	17:50 ~ 18:50 (60分)
		(2時間目)	19:00 ~ 20:00 (60分)
情報		20:10 ~ 21:10 (60分)	

※理科基礎:1科目のみ 17:50～18:20、2科目受験 17:50～18:50

2日間 で受験 の場合 ・文系	1 日目	教科		時間
		地理歴史 公民	(1時間目)	10:00 ~ 11:00 (60分)
			(2時間目)	11:10 ~ 12:10 (60分)
		昼休み		12:10 ~ 13:00 (50分)
		国語		13:00 ~ 14:30 (90分)
		英語(リーディング)		14:40 ~ 16:00 (80分)
		英語(リスニング)※		16:10 ~ 16:55 (45分)

※リスニング:準備時間を含んだ時間で、解答時間は30分です。

2日間 で受験 の場合 ・文系	2 日目	教科		時間
		理科 ※		10:00 ~ 11:00 (60分)
		数学①		11:10 ~ 12:20 (70分)
		昼休み		12:20 ~ 13:10 (50分)
		数学②		13:10 ~ 14:20 (70分)
		情報		14:30 ~ 15:30 (60分)

※理科基礎:1科目のみ 10:00～10:30、2科目受験 10:00～11:00

2日間 で受験 の場合 ・理系	1 日目	教科		時間
		地理歴史・公民		10:00 ~ 11:00 (60分)
		国語		11:10 ~ 12:40 (90分)
		昼休み		12:40 ~ 13:30 (50分)
		英語(リーディング)		13:30 ~ 14:50 (80分)
		英語(リスニング)※		15:00 ~ 15:45 (45分)

※リスニング:準備時間を含んだ時間で、解答時間は30分です。

2日間 で受験 の場合 ・理系	2 日目	教科		時間
		数学①		10:00 ~ 11:10 (70分)
		数学②		11:20 ~ 12:30 (70分)
		昼休み		12:30 ~ 13:20 (50分)
		理科 ※	(1時間目)	13:20 ~ 14:20 (60分)
			(2時間目)	14:30 ~ 15:30 (60分)
情報		15:40 ~ 16:40 (60分)		

※理科基礎:1科目のみ 13:20～13:50、2科目受験 13:20～14:20

【出題教科科目・時間・配点】

教科	科目	出題内容	時間	配点
英語	リーディング	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ	80分	100点
	リスニング		30分	100点
数学①	数学Ⅰ	全範囲	各 70分	各 100点
	数学Ⅰ、A	数学Ⅰ、数学A範囲 ※数学A:数学と人間の活動は除く		
数学②	数学Ⅱ、B、C ※1	数学Ⅱ、数学B、数学C範囲 ※数学B:数学と社会生活、数学C:数学的な表現の工夫は除く	70分	100点
	国語	現代文、古文、漢文	90分	200点
理科 ※2	物理基礎・化学基礎 生物基礎・地学基礎	全範囲	2科目60分	各 50点
	物理	物理(電磁気・原子分野は除く)	各 60分	各 100点
	化学	化学(反応速度と化学平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物は除く)		
	生物	生物(生物の進化、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生)		
	地学	全範囲		
地理 歴史	地理総合、地理探究	地理総合:全範囲 地理探究:自然環境、資源と産業、交通・通信と観光、貿易、人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教、地誌など	各 60分	各 100点
	歴史総合、日本史探究	歴史総合:全範囲 日本史探究:原始・古代～中世(室町時代まで)		
	歴史総合、世界史探究	歴史総合:全範囲 世界史探究:ヨーロッパ▼15世紀末まで(ルネサンス・大航海時代は除く)、中国▼元朝末まで 西アジア・東南アジア・インドなど▼14世紀末まで(ティムール朝は除く)		
公民	公共、倫理	公共:全範囲 倫理:西洋の源流思想、西洋近代思想 ※公共分野は「公共、政治・経済」と共通	各 60分	各 100点
	公共、政治・経済	公共:全範囲 政治・経済:日本国憲法と人権保障、民主政治の基本原則 ※公共分野は「公共、倫理」と共通		
情報	情報Ⅰ	全範囲	60分	100点

【出題教科科目・時間・配点】

旧課程

教科	科目	出題内容	時間	配点
数学 ※3	旧数学Ⅰ・A	全範囲	各 70分	各 100点
	旧数学Ⅱ・B	全範囲		
地理 歴史	旧世界史B	ヨーロッパ▼15世紀末までの全範囲および18世紀のルネサンス・大航海時代 中国▼18世紀末まで 西アジア・東南アジア・インドなど▼17世紀末まで	各 60分	各 100点
	旧日本史B	原始・古代～中世(室町時代まで)		
	旧地理B	地理情報と地図、自然環境、資源と産業、生活文化、民族・宗教、人口、地誌など		
公民	旧現代社会	全範囲	各 60分	各 100点
	旧倫理	全範囲		
	旧政治・経済	全範囲		
	旧倫理、政治・経済	全範囲		
情報	旧情報 ※4	社会と情報:全範囲 情報の科学:全範囲	60分	100点

※1 数学B、数学Cは、**選択問題**で出題します。

※2 理科は、新課程による出題科目において、必要に応じて旧課程履修者等が選択可能な問題を出題します。

※3 (旧課程) 数学A、数学Bは、**選択問題**で出題します。

※4 社会と情報、情報の科学の共通部分に対応した必答問題に加え、それぞれの科目に対応した選択問題を出題します。

・数学①について、旧課程履修者は、「旧数学Ⅰ・A」「数学Ⅰ、A」「数学Ⅰ」の3科目のうちから1科目選択して受験できます。

・数学②について、旧課程履修者は、「旧数学Ⅱ・B」「数学Ⅱ、B、C」の2科目のうちから1科目選択して受験できます。

・地歴、公民から2科目選択して受験することができますが、以下の組み合わせは選択できません。また、新課程科目と旧課程科目を組み合わせて受験することはできません。

「公共、倫理」+「公共、政治・経済」/「旧倫理」+「旧倫理、政治・経済」/「旧政治・経済」+「旧倫理、政治・経済」

・情報について、旧課程履修者は、「旧情報」「情報Ⅰ」の2科目のうちから1科目選択して受験できます。

・理系の理科の3科目選択は「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付していない科目」1科目の組み合わせに限りです。

・理科、地歴、公民において、第1解答科目を指定している大学については、第1解答科目の成績を用いて合格可能性評価を行います。

・志望する大学・学部・学科について、国公立大は最大第5志望まで、私立大・短大とあわせて最大第9志望までの合格可能性評価を提示します。